



学生相談室だより

2007年 8・9月合併号

梅雨が明けて暑い日が続いていますが、夏バテしていませんか？

期末試験が終わると長い夏休みが始まりますね。合宿や旅行に行ったりアルバイトに精を出したりと、みなさんいろんな計画を立てているのではないのでしょうか。有意義な夏休みを過ごしてください。

さて、先月号に引き続き、今月号も学生相談協力委員の先生をご紹介します。今回は理学部の味野道信先生のご登場です。

今回インタビューに行ってくれたのは、ピアサポーターの奥村さん（教育学部4年）と武藤さん（教育学部4年）です。

学生相談協力委員の先生の紹介 -今年度から相談員になられた先生にお話を伺いました-

理学部 味野 道信先生

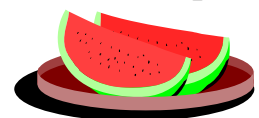
○先生の自己紹介をお願いします。

味野道信です。所属は大学院の自然科学研究科（理学部の物理学科）です。出身は倉敷市で、地元の岡大に進みました。大学院修了後、少しの間神戸大学に勤めていましたが、縁があってまた岡山へ戻ってきました。最近、小中学生相手の公開実験講座や全国物理コンテストにもかかわっています。



○学生時代の思い出について聞かせてください。

一時期、学校で勉強している時間とサークルに行っている時間ではどちらが長いかと考えると、いい勝負だったと思います(笑)。音楽系でしたが演奏よりマネジメントの方が自分に合っていたのか思い出深いです。岡山は台風や地震が少なく、温暖で過ごしやすいですね。他県出身者からは、「岡山は気候がよすぎるから、のんびりしすぎている」と言われてました。



○学生時代の悩みとその解決法は？

学生時代にはいろいろな悩みがあるけれど、そんな時は一生懸命悩まなければいけないのかなという気がします。辛いこと悔しいこと悲しいこと、2～3日眠れずに考え続けたという経験が必要じゃないかと。それがあまり長く続くと良くないですけど。例えば就職とか大きな決断をする時に、自分で一生懸命考えて悩んで決めたことならば、辛いことや嫌なことに会っても、「自分自身が考えて決めたことだから」と思うことで頑張れる面があると思います。だから、深く考えずにあまり悩むことなく決めてしまうと、何かにつまずいた時に他人のせいにして逃げちゃう。何かを選ぶ時は何かを捨てる時ですから、考え悩む。悩みがないということは幸せなようだけど、やっぱりある程度は悩まなきゃいけないのかなと思います。自分の場合は、文庫本に半ば現実逃避しながら考えてました。悩みすぎて身動きできなくなるほどしんどくなると大変だけど・・・、そうなりそうな時は相談室に来ればいいですよ(笑)。



○岡大生の印象について。

昔に比べて華やかになってますよね。特に服装や持ち物。それから、食堂など大学内の環境もずいぶんよくなりました。そのためか、スマートな生活スタイルになって、バンカラなアクのある個性的な学生は減った印象があります。もっとも、それは岡大生だけでなく日本中だと思います。昔、友人と終電が出た後に倉敷まで歩いて帰ったことがあります。始発が動くころに着いたのですが、そんな馬鹿なことが今では思い出だったりします。一見無駄なことでも、とりあえずいろいろやってみるのも面白いと思いますよ。

○岡大生にメッセージをお願いします。

少し前に大学が法人化して、教職員も岡大を良くしたいとっていろいろな動きをしているんです。アンケートをとり、研究会を開き、授業の内容を変え、成果の一般公開をしたり。でも、学生のほうが数が多いので、教職員の側だけ一生懸命やっても駄目なんです。自分たちもここ岡山大学の一員だとの意識で、5年先、20年先に知り合いや自分の子供に、自分の出身はこんなにいい大学だからと薦められるように、皆さんも一緒に考えていきませんか。

味野先生、ありがとうございました！

★ご案内(津島地区)★

受付の場所:一般教育棟D新棟1階 受付時間:月～金 10:30～12:30 14:00～17:00

TEL:086-251-7169(受付) 086-251-7184(カウンセラー直通)

mail:nayami@cc.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

学生相談室だよりは岡山大学の公式ホームページでも閲覧することができます。

岡山大学公式HP→在学生・教職員の皆様へ→在学生のためのキャンパスライフ→

学生相談→学生相談室

URL http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/contents/seikatu_b9-1.html